



三原市新庁舎設計 ワークショップ

第3回 New <概要版>

H28. 3. 6 (日) 実施

三原市総務広報課 (庁舎建設担当室)

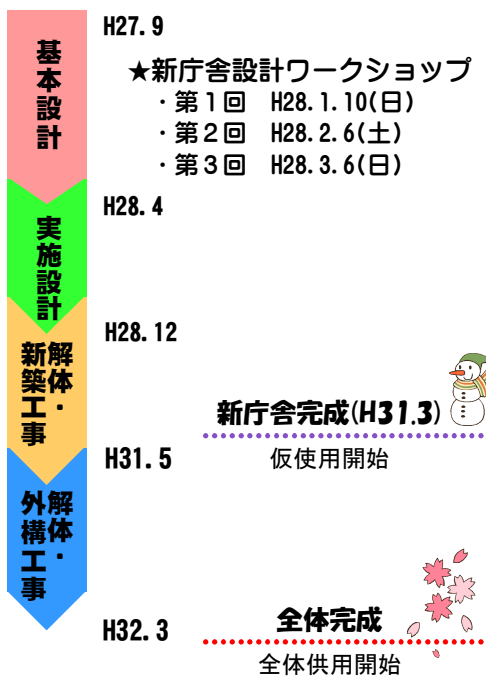
三原市港町三丁目5番1号 電話：0848-67-6022

三原市では平成31年3月の新庁舎完成をめざし、昨年9月から本格的に基本設計の検討を進めております。利用者目線で市民の皆さんからご意見をいただくことを目的に、「三原市新庁舎設計ワークショップ」を開催しました。3月6日(日)に、三原市役所議会棟1階で第3回(最終回)のワークショップを行い、19名の市民の方にお集まりいただきました。

最初に前回出された質問にお答えした後、基本設計案の修正点を説明しました。説明を聞いた後、全体の場で質問やご意見をお聞きしました(p2)。次に8階の多目的スペースの利用の可能性について、グループごとに話し合いました(p3)。最後に、設計者と市に対して伝えたい思いをメッセージカードに書いて、全体の場で感想を含めたコメントを発表しました(p4)。

今回が初参加の方も何人かおられましたが、計画の全体像の説明が不十分な点があり失礼しました。全体の質疑では議場の考え方や太陽光の利用、景観まちづくりの提案など、市庁舎の計画に関わる基本的な問題について議論し、8階の多目的スペースの利用可能性についてもたくさんのアイデアをいただきました。実施設計の中で活かせるよう検討していきたいと思っております。

全体スケジュール



<第3回プログラム>

- 1：はじめに
- 2：修正した基本設計案を説明します
- 3：8階の市民活用スペースの利用について考えましょう
- 4：お一人お一人からのコメント
- 5：まとめ



全体の場で質問やご意見を伺いました。

前回までの結果を受けて修正した基本設計案を説明します

新市庁舎計画の全体概要についておさらいした後、修正案を設計者から説明しました。説明を聞き、全体の場で質問やご意見を出していただきました。

<近隣住民への対応について>

■庁舎の高さが35mとあるが、それより上には物は一切できないのか。電波障害があった場合は地元に対して説明し、対応してくれるのか？

▼
屋上部分は設備機器を置き、遮音も兼ねた目隠しパネルを設置する。それを含めた高さとして35m。今、電波障害の調査中で、障害があれば対応する。

<議場のつくり方、外観イメージについて>

■議場の天井を下げられるなら、屋上の機材の置き方に余力ができるのではないかと。改めて屋上の周囲を回遊できるようにしてもらいたい。三原市の市章の3色を東面と西面に表現してほしい。

■三原市の「議論がしやすいからひな壇にしなければいけない」という条件が間違っていると思う。

<省エネルギー化の考え方について>

■今の庁舎ではブラインドを閉めて、明々と電気を点けて仕事をされている。いくら良い設計をしても意味をなさない。

▼
省エネに貢献するためには、運用面における考慮が大事である。また、外の光を中に取り込みやすいブラインド等も検討していきたい。

<太陽光パネルの設置について>

■太陽光発電設備の容量はどれぐらいか。今、太陽光発電は採算が合わないから撤退している状況がある。あえてここに太陽光発電パネルの設備をつけるメリットがあるのか。将来的な撤去費や処分費等の経費を考えて、本当に必要なのか。取り入れない方が市庁舎の維持管理費は安く上がるのではないかと。国が進める自然エネルギーを三原市もやっているというパフォーマンス以外に、何かあるか。災害時においては発電機の方がよほど役に立つ。自然エネルギーを進めるという姿勢のためだけにこれを付けるのならやめた方がよい。

▼
容量は20Kw程度を想定している。売電ではなく、庁舎の中で電力として使う計画である。市役所としての再生可能エネルギーの普及という役割と、防災面を含めた一時的な電力を賄うということから計画している。

<周辺のまちづくりについて>

■市役所から駅までの歩道の外観は町並みが乱れている。海のほとりを散歩しながら来られるようにしてはどうか。立派な市庁舎ができることは分かったが、町をきれいにしてほしい。それには地元の人にも話しかけて、お互いにやろうじゃないかという雰囲気を作ってもらいたい。

<玄関前通路への大型バスの進入について>

■大型バスがこの通路に入るか？半径はいくつか。12mの大型バスには半径が十数m必要。

▼
今は12mの観光バスの軌跡を検討して、全幅を使えば入れる設計にしている。ここは年に何回か、大型バスが庁舎前を利用する、あるいは災害対応で大型車両が入ることを考えて設計している。

<説明の内容について>

■今日、初めて来たが説明が悪く、具体的な話し合いに入れない。今の本庁舎と城町庁舎、円一町庁舎がどうなるのか、基本的なことが全然分からない。初めて来た人間が分かるような資料がない。そうでないと1回目から来なかった人間は来るなということになる。意見を出してくれと言って集めて、まとめを全然しない。そういうことだから私は帰らせてもらう。物だけ作ってもだめなんだ。中にいる人間の対応がどうかということ。一番重要なことを、理解を進めようという気がない。

<きちんと情報公開して欲しい>

■決定までに「こういう意見があったから最終的にこう決めた」という結論が、議事録や透明性を持って分かるようにしておいて欲しい。

■実際に情報公開を請求したが、実に不真面目な回答しか返ってこない。情報が一切、正常に開示されていない面がある。議論をインターネットなりに載せて情報公開を十分にしたらどうか。

■市側の情報開示が少ない。何故、駅前ですごく便利な所にある保健福祉課をこちらに移さなくてはいけないのか、何故、わざわざ大きい建物を建てるのか、残りの建物をどうするのか、トータルな計画を開示してくれないと議論ができない。

■三原市では協働のまちづくりや中心市街地活性化対策の事業等、様々な事業に取り組んでいる。気をつけて見ると、市から非常にたくさん情報が提供してあるがインターネットやホームページで公開してあり、届いていない。



8階の市民活用スペースの利用提案を考えましょう

計画されている8階の多目的スペースと共用会議室を具体的にどのように活用できるのか、グループで話し合っ出ていただきました。

平日の日常的な利用方法

- ・仕事の打ち合わせ、勉強スペース→ネット環境
- ・市民サークルでの集会、勉強会
- ・サロン、老人クラブ、PTAの連合会
- ・夜勤の多い人のための集い
- ・市民グループへの貸し出し。様々雑多に。
- ・ボランティアグループの会合、サン・シープラザ。駐車場が魅力。
- ・法人、個人関係なく利用できる講習会
- ・ミニ児童館（小学生などが帰りに立ち寄れる場所）
- ・発表会（子ども）。音響
- ・市民ギャラリーとして展示スペースとする。
- ・バザー、フリーマーケット
- ・弁当の持ち寄りができるところ
- ・憩いの場、待合の場
- ・昼ごはんを食べる
- ・手続き、待ち時間を利用して読書
- ・子ども食堂（夕食、軽い物が食べられるような。食べたい大人も）
- ・喫茶ルーム（来庁者等の）。市職員と市民がお茶を飲みながら行政指導？
- ・景色を見ながらお茶を飲み、友達と話をする。
- ・市外からの見学者に説明会
- ・外国観光客の誘引、公開
- ・中国、四国の観光交流
- ・商工課観光係の職員が、三原に因む歴史的エポックを説明している。
- ・FM局、地域

休日・夜間の日常的な利用方法

- ・発表会（子ども）。音響。人数多。
- ・バザー、フリーマーケット。人数多。
- ・物産展、三原の地産品説明会
- ・中国、四国の観光交流
- ・船舶の出入港を見てもらう。イベント(三原市でしか出せない風景)。
- ・港周辺の夜景に明かり（ライト、イルミネーション）を活用したイベント。
- ・夜間に花火を見られる様。
- ・子ども食堂（夕食、軽い物が食べられるような。食べたい大人も）
- ・福祉団体等による三原市のグッズ、土産等及び喫茶
- ・映画上映。シネコン…とまでいなくても地元映画。
- ・防音効果が良ければ閉庁後の音楽会
- ・中高の音楽部に持ち回りで演奏会を。連続的に。
- ・町内会、ボランティアの交流会
- ・サロン、老人クラブの交流会
- ・夜間（夕方）からの学習会
- ・夜間22時まで開いているのであれば、会議でも使える。
- ・学習教室（おさらい）。大学生、OB。
- ・子どもの遊び場
- ・市民がトイレをいつでも使えるように。
- ・利用時間等、管理方法が難しい。

イベントやその他、特殊な利用方法

- ・市民による作品展（絵画他）
- ・ミニ演奏会
- ・三原の歴史を伝える展示会場を定期的で開催する。
- ・映画上映。シネコン…とまでいなくても地元映画。
- ・特産品、ガラクタ市、フリーマーケット
- ・地域活動の連携イベント
- ・子どもと親が共に動けるイベント。絵描き教室？
- ・三原市をアピール出来る会議。気楽に集えるイベント。
- ・県外の方への三原市のPRイベント会場
- ・曜日を決めて展望ラウンジとしてはどうか？
- ・空港の利点があり、海外からの人を集めた三原のPR
- ・外国観光客の受け入れ
- ・中国、四国の観光交流、観光支援。
- ・市職員との対話（15～20分）
- ・市役所意見交換会
- ・市に関する説明会。障がい者、みんなが集える様。
- ・町内会、ボランティア、学生の交流
- ・尾道、竹原、四国に負けない情報集めと他場所との交流
- ・フードドライブ（フードロスをなくするように）の拠点
- ・ビヤガーデン（地ビール、酔心）
- ・結婚式の会場

その他

- ・駐車場は無料に。使いやすいが、本来の利用者が使えない。
- ・名称をミハラタワーとして夢のある庁舎を。
- ・庁舎は市民が株主であります。みんなで活用を。
- ・エレベーター2塔のうち1つは各階、1つは8階直通。
- ・既存の施設との違いはどこに？
- ・喫茶の自動販売機くらいは置いてほしい。
- ・紙コップで無料のお茶、水のサービスを。

お一人お一人からコメントをいただきました

ワークショップに参加して感じたことや市への要望などを皆さんからお聞きしました。

- ◇一般の人々を含めて出しあった意見です。良い市役所であり、足を運びたくなる様な場所、自由な意見の出せる所として長く続く事を期待してます。喫茶ルームは欲しい。市の木、市の花を大切に。
- ◇お世話になりました。全3回出させて頂きましたが本当に楽しみにしています。実際に使っているイメージが完全にはできなかったのですが、使っていきながら市民に愛される庁舎になればいいと思います。
- ◇過ぎた建物にならない様にといい思いは皆さんが持っておられて、市民は健全だなぁと感じられました。意見の集約は大変むずかしいものですが、市の為になる様、お願いしたいです。
- ◇全体的なイメージはつかめた。庁舎の活用法は今回の意見を反映した形で検討頂きたい。議会の7階部分は十分な検討を要すと考えます。職員の方の環境が、現在と比べ安心して作業が出来るよう、十分ご意見を聞いて進めて頂きたい。
- ◇ワークショップ3回とも出席しました。2回目までは議論を繰り返しながらシナリオ通りにほぼ進んだ様な印象を受けましたが、3回目に来て根本的な問題提起が出て、議論がもとに戻った印象があります。今回の問題提起も真摯に受け止め、今後の実施設計で受け止めて頂きたいと思います。
- ◇新庁舎に対する思いを、また色々な意見を伺い、本当に熱心に考えていらっしゃる方がこんなにいらっしゃるという現実を知り嬉しく思いました。自分がない発想に得る事ばかりでした。常に日頃から意識を持って物事を見、考える事の必要性を痛感しました。目先の事だけでなく、100年先の三原市を考えながら意見を発信して行きたいと思います。中心市街地の活性化の1つとして新庁舎の存在は大きく、市民にとって開かれた新庁舎であり、三原市でありますよう願っています。
- ◇最大限、市民が親しく使える庁舎になってほしい。内外幅広く、観光客の誘導に活用したい。市庁舎を活用して市を豊かにすること、地域活動の中心になってほしい。
- ◇正しい情報開示をていねいに、誠実を持って。中学生、高校生の参加を。
- ◇市役所、設計者、ファシリテーターの皆さんが一生懸命対応されていることは理解しています。但し、以下を心に留め遂行して下さい。決定事項が何故決まったのか、情報開示されること（透明性）。特別償が無かったとしても事業を遂行する必要性を語れること。これが出来ない場合は将来に遺恨を残さない為に事業中止するべきです。中高生、大学生もWorkshopに入れてほしいですね。
- ◇三原市に住む方、仕事をされる方が使いやすい設備を取り入れていれば何も問題はないと思います。また建物は将来の子どもも使い続けることになると思いますので、耐久性に優れた物であることを望みます。
- ◇庁舎前の駐車場の一角に便所の設置？
- ◇ワークショップお疲れさまでした。2回、3回出席いただきましたが、庁舎がリニューアルする時期にこのような機会に恵まれ、本当にありがたいです。設計、建築には専門家のお力をひつようとしますが、そこでの仕事（市役所の仕事）は全て市民起点とします。心のこもった市庁舎となることを期待します。そして建設、管理の経費は工夫して、少しでもお安くお願いします。
- ◇新庁舎のエネルギー・建設コストについての議論があり、自分のテーマとは外れているものの大変参考になりました。今後の「ワークショップの意見」として、大いに参考にしたい。今回3回のWSは大いに楽しみました。最後に8階は、コーヒーが飲めて休憩のできる店（兎っ兎ちゃんetc.）を作ってください。
- ◇大変参考になりました。今後よろしくお願ひします。いなかのおじいより。
- ◇周辺の道路状況の悪化にならないか？三原の事故率は尾道の二倍（人口比）。この10年、三原の道路は危なくなるばかりだ。改善工事が続く一方、どうしたら止められるのだろう。尾道は町の様態を2回、3回と変化させている。今は20年前から土地の守り神、海を開放することで今の観光客が来た。三原は変わらないと昔から言われている。今回も変わらない。ルーティンワークの中だけだ。三原は城塞都市。450年の間で意思決定者がいたのは小早川隆景2年、浅野忠平15年のわずか17年。三原は留守居役の町、変わらない。今回も変わらなかった。甲府勤番みたいなもの。
- ◇第3回では8階ラウンジの活用についてでしたが、市役所を利用される方の中には、直ぐに移動せずに、少し休憩をしたい方もいると思いますので、休憩が出来る場所があるのは良いと思いました。そのラウンジの開放時間については、業務時間のみで、休日、夜間までの開放はしないではないかと思えます。あくまで、業務時間に来ていただいた方に休憩していただく場所で、それ以上に機能や役割を持たせなくてもいいのではないかと思います。業務時間外に開放しようとするれば、その分、警備や管理、設備にコストがかかると思うからです。しかし、そのコストに対して、時間外の活用について積極的な案も、私の席ではですが上がりませんでした。ラウンジについての感想は以上です。ワークショップの感想としましては、年齢の上の方々が大変元気だと思えました。このワークショップへの関心の度合いが、世代によって異なっている点が興味深かったです。また、このワークショップで新庁舎へ更に興味を持つことにつながりましたし、他の方々が新庁舎へどのようなものを望んでいるかを知ることでも出来、大変勉強になりました。この度は、ワークショップに参加させていただきまして大変ありがとうございました。利用する人もですが、そこで働かれる職員の方々にも快適な新庁舎が出来ることを願っています。